

第50回 全国設備管理強調月間 作文 金賞  
株式会社東海理化 中村 拓実

# 今までの『当たり前』を 違う『当たり前』に



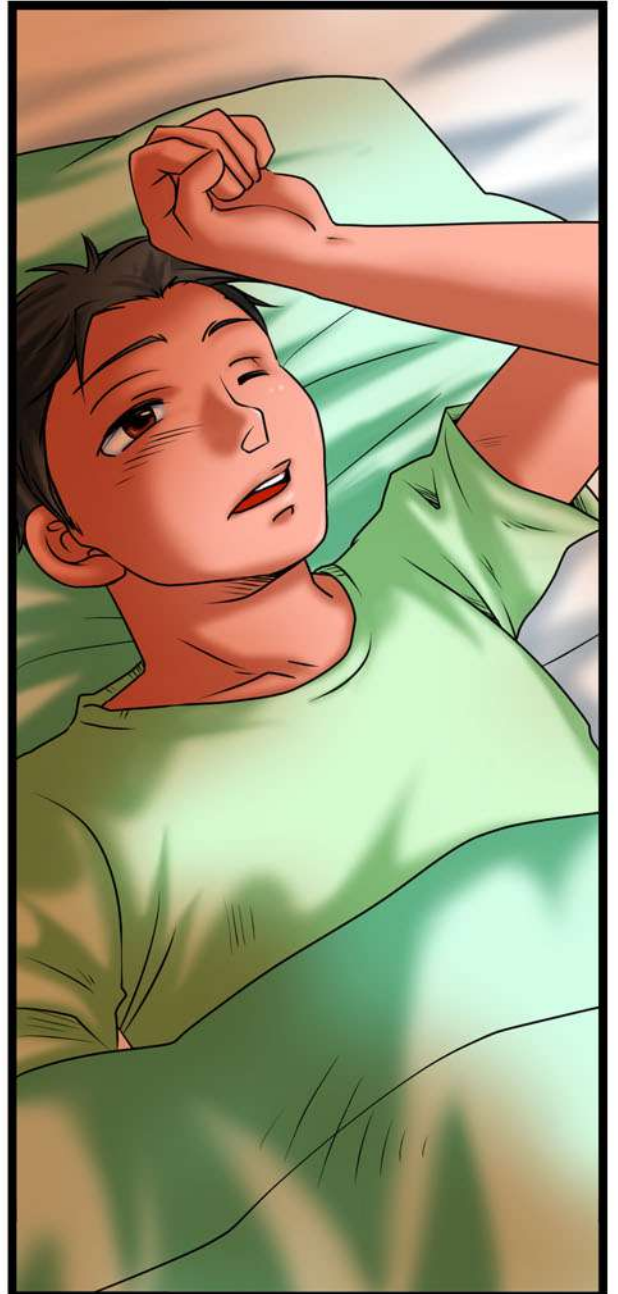
公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会

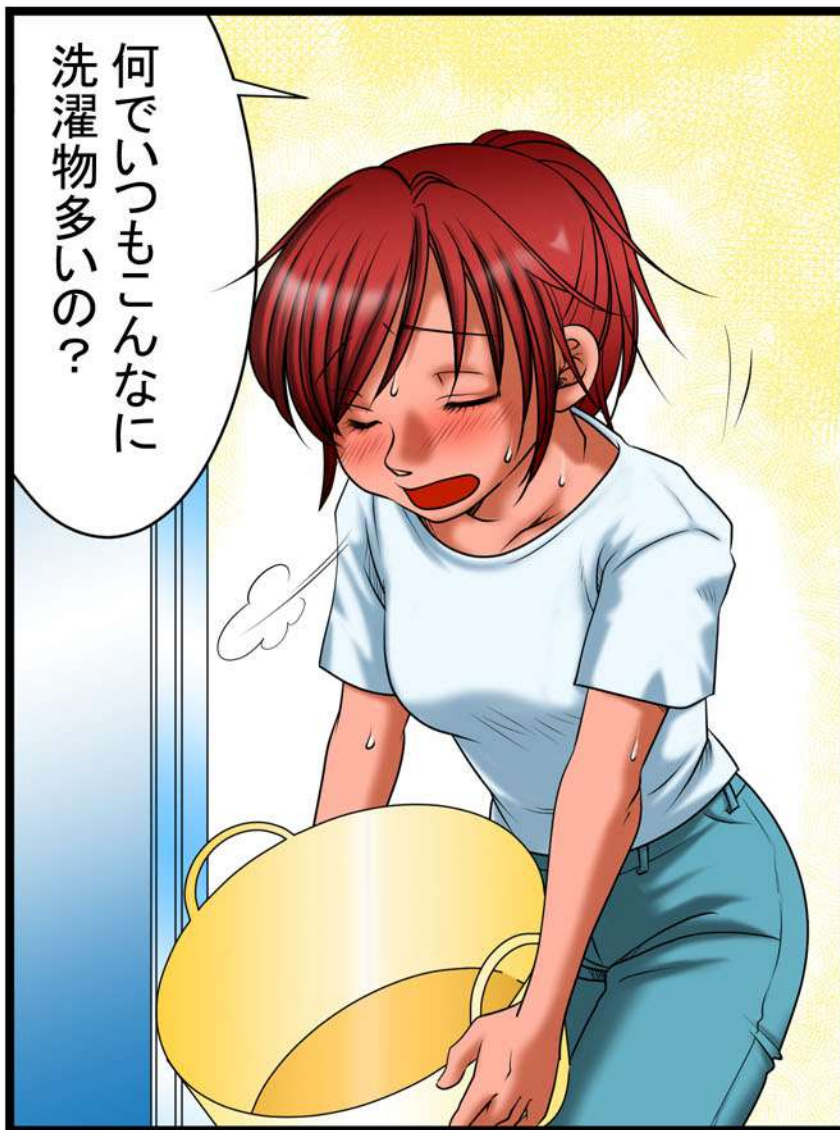
夜勤明けの  
洗濯機の  
アラーム音が  
耳障りだ。

ト  
ト  
ト

ト  
!

しかも何度も洗濯を  
回しているため、  
寝てもすぐに  
起こされてしまう。

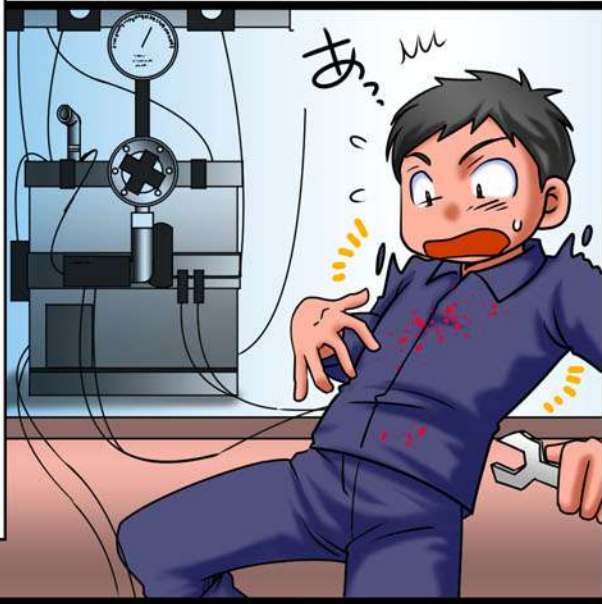




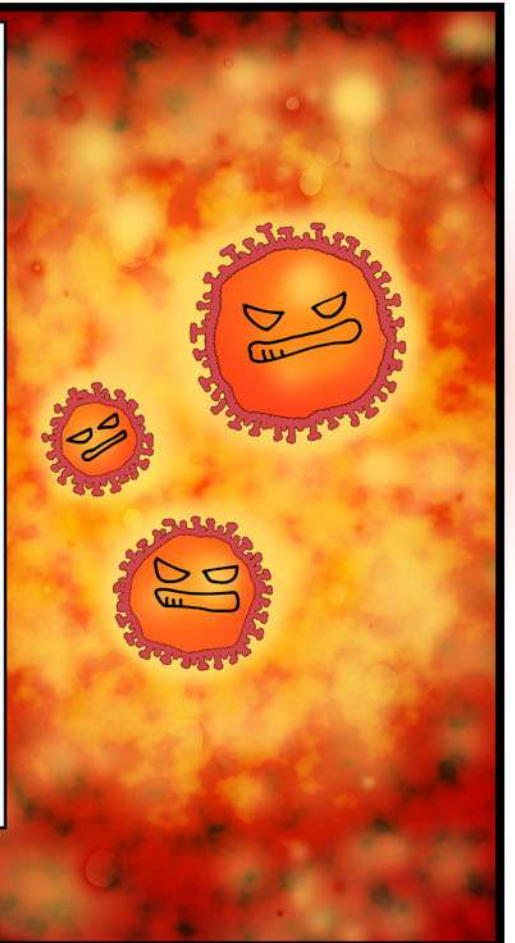
自分は仕事に  
対する自信は  
あったが、

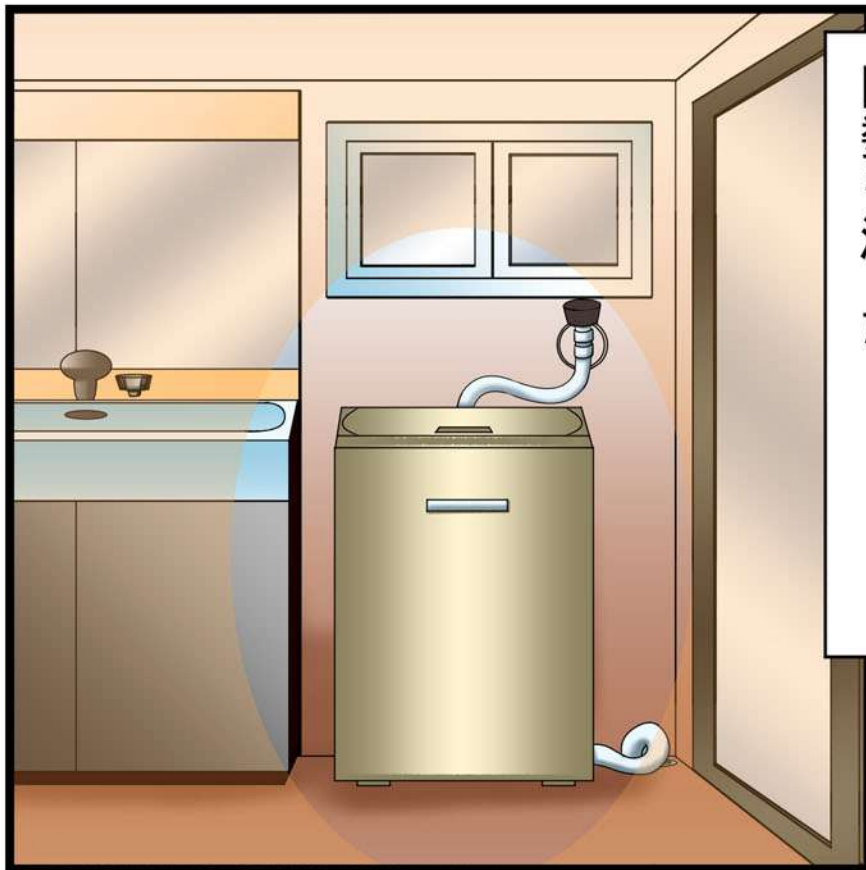


塗料を取り扱っているため、  
汚れるのは『当たり前』だとも  
思っていた。特に塗装機器の  
修理時にはよく汚してしまっていた。



そんな毎日を過ごしている中、  
急にコロナウイルスが渦巻く時代と  
なってしまった。仕事の量は激減し  
自宅にいる日が多くなる日々を  
過ごしていた。





必然と洗濯物の量も減り、洗濯機のアラームの回数も減った。



洗濯物の量と妻の愚痴の量は比例しない。

仕事をしたくてもできない状況であり、だれかが悪いとかじゃないのはわかっていいるとは思いますが、愚痴は増えていった。

しかし妻からの愚痴は増える一方となっていた。



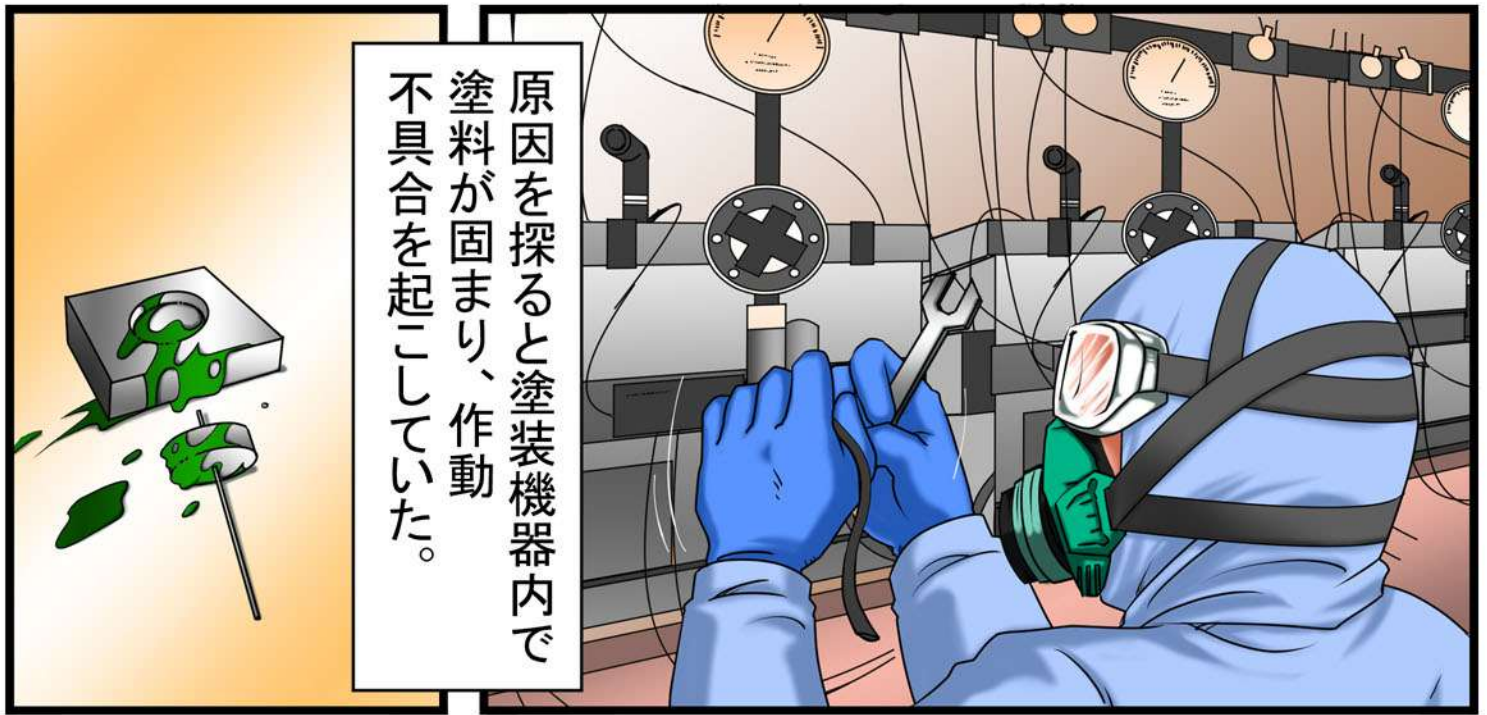
いつも家でゴロゴロして

そんなある日、

その日は出勤であったため、  
会社に来て設備を動か  
そうとした。その時、  
事件は起きた。

自分が担当しているラインの  
塗装機器が全く動かなく  
なってしまったのだ。





原因を探ると塗装機器内で塗料が固まり、作動不具合を起こしていた。



班長と一緒にすべて部品を交換することでなんとか設備は動いてくれるようになった。



よくある毎度の故障ではあったが、この日は設備が止まっていた時間が長かったせいか、修理に時間がかかった。



全く同じことを言われている人がいると直感的に思った。



その後、自分と同じように塗料まみれとなった班長が

うわっ！また塗料が付いちちゃったよ。これ怒られるんだよな



しかし、そのあとに班長が口にした言葉は印象的であった。

作業服は汚しても嫁さんには愚痴は言われるけど、綺麗にしてくれる。

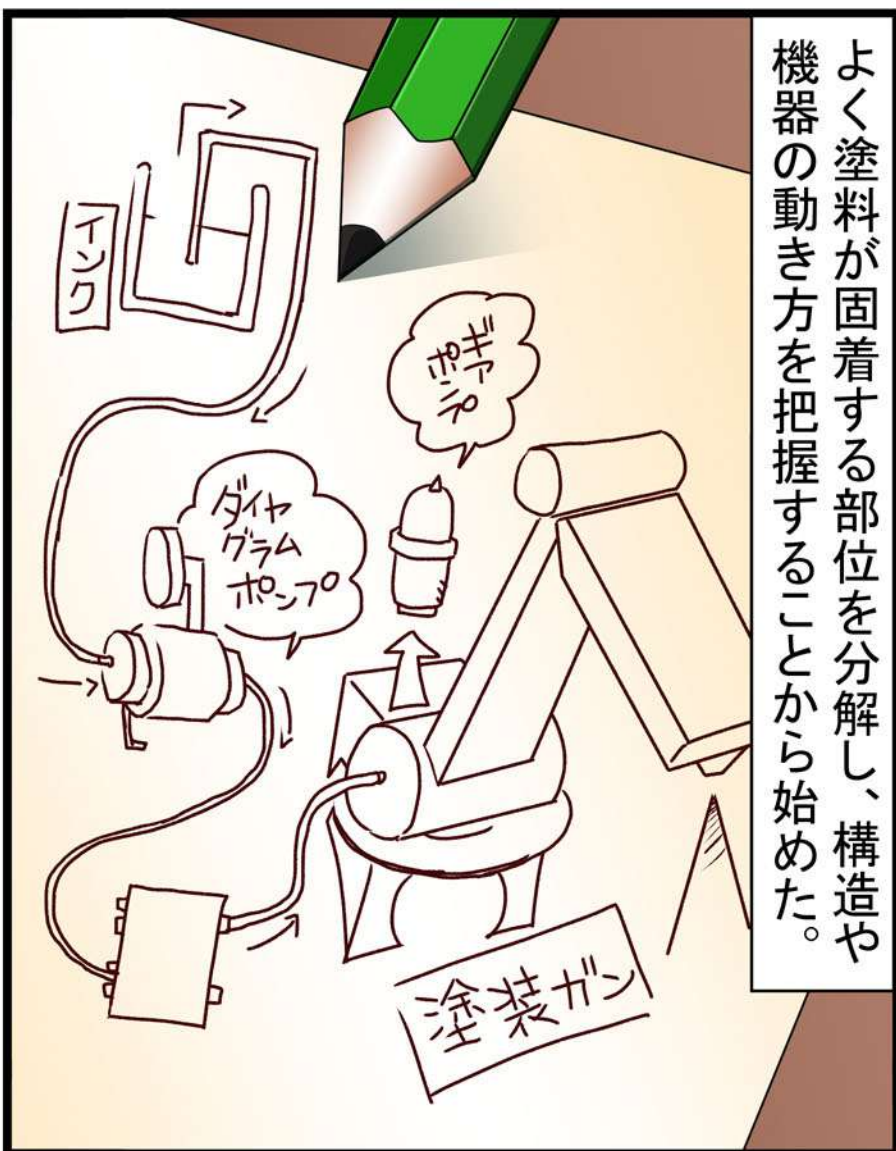
しかし設備は愚痴も言わずに故障して、なかなか直つてくれない時がある。







その後、塗装機器はメンテナンスと止め方の工夫をすることで故障を防ぐことができることがわかり、それを実行し、継続することとなった。その結果、塗装機器は故障しないのが『当たり前』となった。



それから何日か経ち、  
すっかり生産量が戻り、  
日常を取り戻したある日、

洗濯をしながら妻が  
笑顔で言った。

ほんとに仕事  
しているの？洗濯物  
減ったみたいだけど…

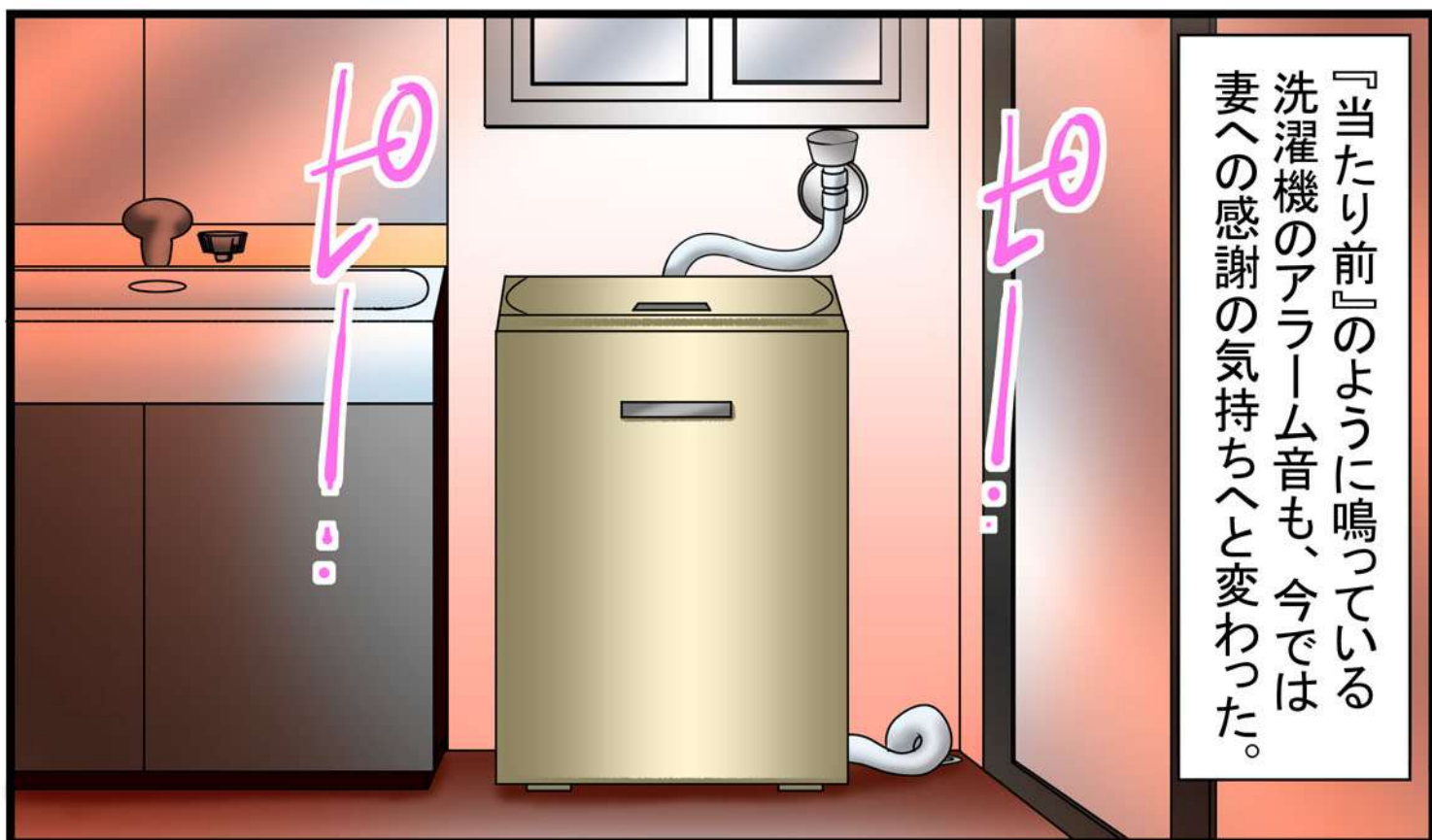
暑い日でも寒い日でも、いつも洗濯してくれる妻が、  
ちよつとの変化に気づいてくれていた。

毎日見ているからこそ、  
ちよつとした変化に  
気づくことが  
できているのであろう。

そのことを妻の洗濯と  
作業服の汚れが教えて  
くれたように思えた。



きっとそれは、設備に対しても同じ。  
設備もしっかり毎日観察し、  
小さな変化にも気づくことで  
未然に故障は防げる。



『当たり前前』のように鳴っている  
洗濯機のアラーム音も、今では  
妻への感謝の気持ちへと変わった。